

(資料 2)

「町田市産業振興計画 19-28」前期実行計画  
2019 年度取り組み結果

町田市

2020 年 7 月

# 目 次

	施策	個別施策名	ページ
1 「立ち上げ」	(1) 起業・創業の魅力を伝える	① 幅広い世代に向けた起業・創業の魅力発信【拡充】	1
		② 起業・創業への第一歩を支援【継続】	2
	(2) 想いを形にするためのサポート	① 起業・創業の実現に向けたニーズに沿った支援【継続】	3
		② 起業・創業支援の担い手の拡充【拡充】(★)	4
	(3) 起業・創業後の事業拡大を後押し	① 起業・創業初期の経営支援【拡充】(★)	5
		② 起業・創業後の事業拡大に向けた資金調達の支援【拡充】	6
2 「拡張」	(1) 新分野・新技術への進出を後押し	① 産業財産権に関する啓発・取得の支援【拡充】(★)	7
		② 環境変化に応じた商業事業者等の販売促進の支援【拡充】(★)	8
		③ 新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援【拡充】(★)	9
	(2) 独自の「強み」を磨く取り組みをサポート	① 自社の技術を生かし、競争力を高める取り組みを支援【拡充】	10
		② 町田の特色や強みを生かした商品・サービスの開発、ブランド化の促進【継続】	11
		③ 営業支援や展示会出展支援を通じた販路拡大の促進【拡充】	12
	(3) 異業種・異分野との連携による新たな価値の創出	① 異業種・異分野との連携機会の創出【継続】	13
		② 連携による新たな価値の創出に関する支援【拡充】(★)	14
	3 「つなぐ」	(1) 安定した事業継続をサポート	① コスト削減や売り上げ向上の取り組みを支援【継続】
② 業務の効率化・生産性向上を促進【拡充】			16
③ 事業継続の課題解決に向けた取り組みを支援【拡充】			17
(2) 次代を担う人を育てる		① 将来を担う人材の確保を支援【拡充】(★)	18
		② 人材育成やキャリア形成に関する支援【継続】	19
(3) 円滑な事業承継を推進		① 事業承継に対する早期の対策の促進【拡充】(★)	20
	② 事業承継や後継者育成に関するニーズに応じた支援【拡充】(★)	21	
	③ 事業承継マッチングや事業承継手続きに関する支援【拡充】(★)	22	
4 「働きやすさづくり」	(1) 働きやすいまちづくりの推進	① 多様な働き方を実現するための環境づくり【拡充】(★)	23
		② 心地よく働き続けることができる環境づくり【継続】	24
	(2) 「選ばれるまち」としての魅力を高める	① 事業者サポート体制の充実【拡充】(★)	25
		② 多様な資金調達の支援【拡充】	26
		③ 市内におけるオフィスや工場の新設・規模拡大を支援【継続】	27
		④ 町田の特色や強みを生かした事業者の集積を促進【拡充】(★)	28
		⑤ 町田で働く魅力の発信【拡充】(★)	29
		⑥ 産業支援に関する有効な情報発信【拡充】(★)	30
	(3) まちの賑わいを生み出す	① コト・トキ・モノ消費を楽しむことができる「商店街」の育成支援【拡充】	31
		② 町田の産業の魅力発信【継続】	32

(★) : 新規の取り組みを含む

1 - (1) - ① 幅広い世代に向けた起業・創業の魅力発信

取り組みの概要	【目的】				
	子ども・学生・シニアなどの幅広い世代に向けて、起業・創業の魅力を伝え、関心を高めることにより、市内の創業機運の醸成を図ります。				
	【内容】				
	◎ 潜在的な起業・創業希望者の掘り起こしのため、まちふれ親子教室※1や子ども起業塾※2など、子ども向けの事業を実施します。 ◎ 学生・シニアの方々など幅広い世代に向けて起業・創業の魅力を伝えるセミナーや情報発信を行います。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田市(産業政策課) ・町田商工会議所 ・町田新産業創造センター			・教育機関	
指標	セミナー等の実施回数			現状値(2017年度)	
				1回/年	
				目標値(2023年度)	
				3回/年	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	4回				
事業費	2,766千円				
スケジュール	子ども・シニア向け事業の検討・実施				
	起業・創業の魅力発信(セミナーの実施、情報発信)				
2019年度の取り組み内容・成果	創業機運醸成のため、各種イベントやセミナー等を計4回実施しました。 8月:「まちだキッズ発明体験教室(夏)」、「まちだキッズマネー教室」 10月:「まちだ子ども起業塾」 12月:「まちだ未来ビジネスプランコンテスト2019」最終審査会				
2019年度の取り組み評価・課題	4回のイベント等を実施し、目標値を達成できました。引き続き関連機関と連携しながら、幅広い世代に起業・創業の魅力を伝えることができるようなセミナー等を実施することが必要です。				

※1 まちふれ親子教室：小学生とその保護者の方向けに、学校で習うものとは一味違ったテーマを、ゲームやワークショップ形式で学ぶ親子体験型の教室。

※2 子ども起業塾：小学生向けに起業から事業計画の作成、資金調達、取引、決算と起業をバーチャル体験する教室。

1 - (1) - ② 起業・創業への第一歩を支援

取り組みの概要	【目的】				
	セミナーや個別相談、創業者との交流を通じ、起業・創業に関心がある方々の具体的な取り組みへの第一歩を後押しします。				
	【内容】				
	○ 起業・創業を希望する方、関心がある方を対象に、事業計画の作成や資金調達などのニーズに対する個別相談やセミナーを行います。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田商工会議所 ・町田新産業創造センター ・町田市(産業政策課)				
指標	① 創業スクールの参加者数			現状値(2014年度～2017年度の平均)	
	② 女性向けセミナーの参加者数			①49名/年 ②16名/年	
				目標値(2019年度～2023年度の累計)	
				①250名(累計) ②100名(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①133名 ②48名				
事業費	0千円				
スケジュール	ニーズに沿った起業・創業の支援（個別相談、セミナーの実施）				
2019年度の取り組み内容・成果	① 7月～9月にかけて「まちだ創業スクール2019」を開催しました。2019年度は「リアル店舗創業コース」（3日間）と「ネット活用創業コース」（6日間）を設け、それぞれ55名、78名の方の受講があり、事業計画の策定や資金調達などについての知識を習得するとともに同じ志をもつ方々の交流の場として活用できました。 ② 7月に「まちだプチ起業セミナー」（全5回）を開催し、18名の方が受講しました。また、10月～11月に「まちだ女性創業スクール」（全5回）を開催し、30名の方が受講しました。				
2019年度の取り組み評価・課題	①特に「ネット活用創業コース」の受講者が多く、時代のニーズを感じることができました。今後も時流にあった創業コースを設定して創業希望者の醸成を図っていく必要があります。 ②女性向けセミナーは、受講生のレベルにばらつきがあるため、よりターゲットを明確にして宣伝を行うことで、受講生のレベルの統一することが必要です。				

1 - (2) - ① 起業・創業の実現に向けたニーズに沿った支援

取り組みの概要	【目的】 事業計画の策定や資金調達、開業手続きなど、起業・創業希望者の課題に応じたサポートを行い、起業・創業の実現を支援します。				
	【内容】 ○ 起業・創業希望者の課題解決に向けた、個別相談会やセミナーを実施します。 ○ 町田創業プロジェクト※1による起業・創業希望者への支援を行います。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田商工会議所 ・町田新産業創造センター ・町田市(産業政策課)			・金融機関	
指標	① 「起業家カード※2」の発行枚数			現状値(2014年度～2017年度の平均)	
	② 町田商工会議所、町田新産業創造センターにおける創業相談件数			①104枚/年 ②405件/年	
				目標値(2019年度～2023年度の累計)	
				①700枚(累計) ②2,500件(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①210枚 ②433件				
事業費	2,969千円				
スケジュール	起業・創業希望者の課題に応じた支援（個別相談、セミナーの実施）				
2019年度の取り組み内容・成果	①起業家カードの発行数は町田商工会議所で122枚、町田新産業創造センターで88枚を発行し、2018年度から65件増加しました。 ②創業に関する相談件数は町田商工会議所で141件、町田新産業創造センターで292件となりました。				
2019年度の取り組み評価・課題	起業家カードの発行枚数は、創業者向けセミナーの受講者数増加の影響もあり、2018年度と比較して65件、前年比45%増と大幅に増加しました。今後も、引き続き町田創業プロジェクトの周知を行い、セミナーや個別相談等による創業者支援を行っていく必要があります。				

※1 町田創業プロジェクト：町田市、町田商工会議所、町田新産業創造センター、金融機関が連携して、起業・創業を支援する取り組み。

※2 起業家カード：「町田創業プロジェクト」の特典を利用するための証明書の発行に必要なカード。町田商工会議所、町田新産業創造センターから発行される。

1 - (2) - ② 起業・創業支援の担い手の拡充

取り組みの概要	【目的】 「起業・創業者に選ばれるまち」になるため、起業・創業者のサポート体制を強化し、新しいビジネス・事業者が生まれやすい環境を整えます。				
	【内容】 ○ 多様化する起業・創業のニーズに応じたきめ細かい支援を実施するため、民間の創業支援機関と連携した事業を行います。また、民間の支援機関同士の連携を促進します。 ★ 創業支援施設等に対する立地奨励制度を活用し、創業支援の担い手を拡充します。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田市(産業政策課) ・町田商工会議所 ・町田新産業創造センター			・民間の創業支援機関	
指標	① 民間の創業支援機関同士が連携した事業件数			現状値(2017年度) ①1件/年 ②なし	
	② 創業支援施設の立地件数			目標値(2023年度)	
				①2件/年 ②2件(2019~2023年度の累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①1件 ②1件				
事業費	0千円				
スケジュール	民間の創業支援機関同士の連携事業（ビジネスコンテストの実施等）				
	立地奨励制度の周知	創業支援施設等の立地支援			
2019年度の取り組み内容・成果	① 3つの民間創業支援機関（町田新産業創造センター、COMMUNE BASE マチノワ、BUSO AGORA）が連携し、今年で3回目となる「まちだ未来ビジネスアイデアコンテスト」を開催しました。 ② BUSO AGORAが原町田にオープンしました（8月）。				
2019年度の取り組み評価・課題	①2019年度のビジネスアイデアコンテストは、主催団体に新たにBUSO AGORAが加わりました。アイデアの応募件数は2018年度の23件から大幅に増加し、52件となりました。 ②創業支援施設等の立地奨励制度については、引き続き中心市街地活性化奨励制度のパンフレットをセミナー等で配布し、周知をしていく必要があります。				

1 - (3) - ① 起業・創業初期の経営支援

取り組みの概要	【目的】				
	多くの起業・創業者にとっての課題である、販路拡大や事業の安定化、経営に必要なノウハウ習得に向けた機会をつくれます。				
	【内容】				
	<p>○ 町田新産業創造センター入居者や、創業スクール等の受講生のマッチングイベント(交流会)を実施します。</p> <p>★ 町田創業プロジェクトを受講された方や事業拡大に伴い町田新産業創造センターを退去された方などが情報交換や事業連携を行えるネットワークを構築し、創業者の支援や創業後のアフターフォローを行える体制を構築します。</p>				
	【実施主体】			【関係団体】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市(産業政策課)</li> <li>・町田商工会議所</li> <li>・町田新産業創造センター</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の創業支援機関</li> </ul>	
指標	① マッチングイベントの実施回数			現状値(2017年度)	
	② アフターフォロー体制の構築			①1件/年 ②なし	
				目標値(2023年度)	
				①2件/年 ②支援体制構築及び実施	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	① 2件 ② 実施				
事業費	0千円				
スケジュール	マッチングイベントの実施 (町田新産業創造センター入居者交流会等)				
	アフターフォロー体制の構築		支援の実施		
2019年度の取り組み内容・成果	<p>① 4月と10月にまちだ創業プロジェクトの受講者を対象とした、創業プロジェクト交流会を開催しました。</p> <p>② 町田新産業創造センターでは、創業支援を受けた方の情報蓄積を行うための仕組みを検討・構築しました。また、創業後の相談受付や、創業者を訪問してヒアリング等を行いました。町田商工会議所では、まちだ創業スクール2019受講者を対象として継続個別相談会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となりました。</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	<p>① 引き続き創業プロジェクトの受講者等の交流会を開催し、受講者同士の交流を図っていく必要があります。</p> <p>② 創業後の支援や情報蓄積手法については、さらに有効性を高めていくための検討を行っていく必要があります。</p>				

1 - (3) - ② 起業・創業後の事後拡大に向けた資金調達の支援

取り組みの概要	【目的】				
	起業・創業後の成長・拡大に必要となる資金調達をサポートします。				
	【内容】				
	○ 投資家とのマッチングやクラウドファンディングの活用など、事業拡大に向けた多様な資金調達を支援します。 ◎ 起業・創業間もない方が有利な条件で融資を受けられるよう、創業者向けの融資制度を拡充します。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田市(産業政策課) ・町田商工会議所 ・町田新産業創造センター			・金融機関	
指標	① クラウドファンディングの支援件数			現状値(2017年度)	
	② 市の融資制度において創業支援特例※を受けた件数			①なし ②1件/年	
				目標値(2023年度)	
				①10件(2019~2023年度の累計) ②20件/年	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①3件 ②34件				
事業費	130,517千円				
スケジュール	起業・創業後の多様な資金調達の支援 (クラウドファンディング活用支援等)				
	創業者向け融資制度の拡充		拡充した融資制度の実施		
2019年度の取り組み内容・成果	①町田新産業創造センターの支援により、3件のクラウドファンディングが実行されました。 ②創業資金の利用件数77件のうち、創業特例を利用した件数は34件となりました。				
2019年度の取り組み評価・課題	①2019年度の新規相談案件は16件で、実行まで至らなかった案件も多くなっています。引き続き、事業者のクラウドファンディングの実行に向けた支援を行っていくことが必要です。 ②創業資金の利用件数は年々伸びており、そのうち半数近くが創業支援特例を利用していることから、制度が認知されてきたといえます。				

※ 創業支援特例：町田創業プロジェクトの支援を受けて、証明書を受け取った場合に適用される創業時の各種優遇措置。



2 - (1) - ① 産業財産権に関する啓発・取得の支援

取り組みの概要	【目的】 産業財産権※1の戦略的活用による、他社製品との差別化や、オープンイノベーション※2を活用した開発を推進し、事業者の競争力・付加価値向上を目指します。				
	【内容】 ○ 産業財産権を取得する際の、費用の一部を補助します。 ◎ 日本弁理士会（関東会）等と連携し、事業者等の権利取得の啓発に向けた産業財産権に関する相談会・セミナー等を開催します。 ★ 自社以外が保有する産業財産権を活用した商品開発を支援します。				
	【実施主体】 ・町田市（産業政策課） ・町田商工会議所			【関係団体】 ・日本弁理士会（関東会）	
指標	① 産業財産権取得に対する補助件数			現状値(2017年度)	
	② 啓発事業(相談会・セミナー等)件数			①8件/年 ②3件/年	
				目標値(2023年度)	
				①12件/年 ②5件/年	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①15件 ②1回				
事業費	1,063千円				
スケジュール	産業財産権取得に関する費用の補助				
	産業財産権取得に向けた啓発事業（相談会・セミナー等）				
	自社以外の権利活用支援の検討			支援の実施	
2019年度の取り組み内容・成果	<p>①前期実行計画で設定した目標値（2023年度）12件を超える15件（特許権6件、意匠権2件、商標権5件、特許審査請求2件）の補助を行いました。</p> <p>・2019年8月に日本弁理士会関東会と連携し、発明の楽しさや大切さを子どもの頃から知ってもらうため、基礎的な知的財産の内容を題材とした小学生向けの発明体験教室を開催しました（2020年3月にも開催予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。</p> <p>・2020年2月にトライアル認定事業者を事例紹介の講師に招いた知的財産セミナーを開催しました。</p> <p>②2019年10月25日に町田商工会議所及び日本弁理士会関東支部との共催により「ビジネスにすぐに役立つ著作権のお話し」セミナーを町田新産業創造センター1階イベントスペースで開催し、14名の参加がありました。</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	<p>①市内事業者による積極的な産業財産権の取得に向けて、引き続き啓発活動を継続し、市内産業における定着を図ることが必要です。</p> <p>②知財がいかに身近で重要なものである認識をもってもらうため、より興味を引くセミナーのテーマや内容を考えていく必要があります。</p>				

※1 産業財産権：特許権、実用新案権、意匠権、商標権

※2 オープンイノベーション：企業や組織において、外部から技術やアイデア等を取り込むことにより、新しい価値（イノベーション）を作り出すこと。

2 - (1) - ② 環境変化に応じた商業事業者等の販売促進の支援

取り組みの概要	【目的】 環境の変化に対応しながら、新規の顧客開拓に取り組む事業者を支援することで、市の中心産業である商業・サービス業等の維持・発展を目指します。				
	【内容】 ★ ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピック等の国際大会をきっかけとした外国人観光客の増加に対応するための各種取り組み(キャッシュレス化、多言語対応等)を行う事業者を支援します。 ★ 商業事業者等の新規顧客開拓及び売り上げ増進に向け、E C ※等を活用した販路拡大の支援を行います。				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課) ・町田商工会議所			【関係団体】 ・町田市商店会連合会 ・町田市観光コンベンション協会	
指標	① 新たな販売手法(キャッシュレス、E C 関連等)に関するセミナーの実施件数			現状値(2017年度) ①なし ②なし	
	② 新たな販売手法の導入支援の実施			目標値(2023年度) ①2件/年 ②実施	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①7回 ②未実施				
事業費	0千円				
スケジュール					
2019年度の取り組み内容・成果	①関係団体が、経営者向けのセミナーを開催し、情報提供をすることができました。 ・集客・売り上げに結び付くキャッシュレス決済の事例と動向(5月、6月) ・軽減税率制度導入に対応した経理業務のよくある疑問(11月) ・キャッシュレス事業者の展示会、セミナー(11月) ・オンライン講座(6月から12月)・越境ECセミナー(1月) ・JPQR登録説明会(3月) ②導入支援に関する検討を行いました、実施できませんでした。				
2019年度の取り組み評価・課題	①国際大会開催に向けた、外国人観光客を対象と捉えていたキャッシュレス決済推進でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてECやキャッシュレス決済の必要性を感じた事業者の説明会への参加が増加しました。 ②町田市商店会連合会とともに、商店会単位でのキャッシュレス決済導入に関する企画の検討を行いました。				

※ E C (E - c o m m e r c e) : インターネットを媒介した電子商取引

2 - (1) - ③ 新しいビジネスモデルや新技術の導入に挑戦する事業者を支援

取り組みの概要	【目的】				
	時代のニーズを読みながら、新しいビジネス手法や新技術の導入に挑戦する事業者を支援することで、これまでにない価値の創出を推進します。				
	【内容】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ シェアリングエコノミー※に関するセミナー等を開催し、新しいビジネス手法や新技術の導入を推進します。</li> <li>★ 新たな商品やサービスを開発する事業者が行う実証実験に対して支援を行います。</li> </ul>				
	【実施主体】			【関係団体】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市(産業政策課)</li> <li>・町田新産業創造センター</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田商工会議所</li> <li>・教育機関</li> </ul>	
指標	① 新しいビジネス手法や新技術の導入に関する情報提供の実施件数			現状値(2017年度)	
				①なし ②なし	
	② 実証実験の支援件数			目標値(2023年度)	
				①1件/年 ②2件(2019~2023年度の累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①0件 ②0件				
事業費	163千円				
スケジュール	新しいビジネス手法や新技術の導入に関する情報提供				
2019年度の取り組み内容・成果	<p>① 3月にシェアリングエコノミーセミナーの開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による中止となりました。</p> <p>②2020年度の制度構築に向けて、支援スキームを検討しました。</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	<p>①セミナー等を通じて、新しいビジネス手法を事業者に情報提供していく必要があります。</p> <p>②2020年8月の申請受付に向け、制度を構築する必要があります。</p>				

※ シェアリングエコノミー：インターネット等を介して、モノ・サービス・スキルなどを他者や事業者同士で共有する経済。

2 - (2) - ① 自社の技術を生かし、競争力を高める取り組みを支援

取り組みの概要	【目的】 市内の事業者が開発する、新規性・有用性のあるオンリーワンの商品・サービスの販路拡大を支援することで、事業者及び市の産業の付加価値の向上を目指します。				
	【内容】 ○ 事業者が開発する新規性・有用性の高い新商品・サービスの認定制度を設け、販路拡大や付加価値向上を支援します。 ◎ トライアル発注認定事業者等に対し、販路拡大等に向けたビジネスアドバイザー等の派遣を行います。				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課)			【関係団体】 ・町田商工会議所 ・町田新産業創造センター ・教育機関	
指標	① 新商品・サービスの認定件数(トライアル発注認定件数)			現状値(2017年度) ①24件 ②なし	
	② ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数			目標値(2023年度) ①48件 ②9件(2019~2023年度の累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①38件 ②0件				
事業費	942千円				
スケジュール	町田市トライアル発注認定制度の実施				
	ビジネスアドバイザー制度の検討		ビジネスアドバイザー等の派遣		
2019年度の取り組み内容・成果	①8月に5事業者・5商品を新たに認定しました。また、10月に2019年度トライアル発注認定商品カタログを作成し、認定商品について広く周知しました。 ②ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した事業者はいませんでした。トライアル発注認定商品カタログ、認定事業者交流展(1月)にて支援制度の周知を行いました。				
2019年度の取り組み評価・課題	①2019年度は年度目標値を達成しました。今後も引き続き、認定件数の増加につながるよう、制度周知を行うことが必要です。 ②制度の周知を行ったものの、派遣相談にはつながりませんでした。2020年度は東京都中小企業振興公社と情報交換を行いながら、認定事業者への制度周知を強化し、活用を促進する必要があります。				

2 - (2) - ② 町田の特色や強みを生かした商品・サービスの開発、ブランド化の促進

取り組みの概要	【目的】 町田市ブランド力向上につながる商品やその開発への支援、個性なお店の発信等を通して、商品及び事業者の販路拡大を図ります。				
	【内容】 ○ 町田の特色や農産物を生かした郷土色溢れる個性豊かな食品・お菓子・工芸品等を「町田市名産品」として認定し、市内外へ向けた周知や販路拡大を支援します。 ○ 高い評価を受けている市内のお店を「町田私の好きなお店大賞」に選定し、市内外へ向けた周知や販路拡大を支援します。 ○ 「まちだシルクメロン」等、市内の特産品等を活用した商品開発を支援します。また、開発された商品を認定し、販路拡大を支援します。				
	【実施主体】 ・町田市名産品等推奨委員会 ・町田商工会議所 ・町田市(産業政策課、農業振興課)			【関係団体】 ・町田市観光コンベンション協会 ・町田市商店会連合会	
指標	① まちだ名産品のれん会※のイベント出店件数		現状値(2017年度)		
			①11件 ②84件 ③8件		
	② 町田市私の好きなお店大賞受賞店舗数		目標値(2023年度)		
	③ まちだシルクメロンを活用した認定商品数		①15件 ②110件 ③15件		
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①15件 ②88件 ③13商品				
事業費	1,243千円				
スケジュール					
2019年度の取り組み内容・成果	<p>① 市長会での開催イベント等の情報提供をして新しいイベントに出店したことや、今まで行っていた市役所前での販売会に代わって「ぽっぽ町田」でとっておきの音楽祭とコラボした町田名産品まつりを開催したことにより、新規顧客へPRすることができました。</p> <p>② リスティング広告を実施することで投票数の増加を図り、618票（前年対比101%）の投票があり、4店舗を選出しました。これまでに決定した店舗は94件となりますが、6店が閉店しているため、累計88件となります。</p> <p>③ まちだシルクメロンを加工したピューレを利用した新商品開発を促し、認定審査会には3商品が出品され、うち1商品が認定されました。</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	<p>① 新イベントへの出店や販売会の方法の工夫により、新規顧客にPRできました。</p> <p>② 事業の認知度は高まり、投票数も増えていますが、選出店舗の業種・エリアに偏りがあるため、選出方法等を検討する必要があります。</p> <p>③ 認知度も高くなり、新たに新商品開発に取り組む事業者からの出品もありました。</p>				

※ まちだ名産品のれん会：町田市名産品の認定事業者からなる組織。町田市名産品の品質向上とPRを目的とし、研修会や市内外でのイベント販売、販売促進活動等を行っている。

2 - (2) - ③ 営業支援や展示会出展支援を通じた販路拡大の促進

取り組みの概要	【目的】				
	事業者が商品・サービスを積極的に国内外へ売り出すための支援を行い、販路拡大や連携先の発掘・強化を目指します。				
	【内容】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業者が各種見本市や展示会に出展する際の経費に対する補助等を行います。</li> <li>◎ トライアル発注認定事業者等に対し、販路拡大等に向けたビジネスアドバイザー等の派遣を行います。【再掲】</li> </ul>				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田市(産業政策課)				
指標	① 各種見本市・展示会等出店支援件数 ② ビジネスアドバイザー等の派遣を活用した延べ事業者数【再掲】			現状値(2017年度)	
				①17件/年 ②なし	
				目標値(2023年度)	
				①20件/年 ②9件(2019～2023年度の累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①24件 ②0事業者				
事業費	3,805千円				
スケジュール	各種見本市・展示会への出展支援				
	ビジネスアドバイザー制度の検討【再掲】		ビジネスアドバイザー等の派遣【再掲】		
2019年度の取り組み内容・成果	<p>①・市内事業者の販路拡大に向け、展示会等への各種出展支援を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の産業見本市・展示会等へ出展した市内事業者に対し、出展料等を一部補助 23件（国内：22件、国外：1件）</li> <li>・東京都主催「産業交流展」のブースを町田市が借上げることにより、事業者が費用負担することなく出展できるよう支援</li> </ul> <p>②トライアル発注認定商品カタログ、認定事業者交流展（1月）にて支援制度の周知を行いました。</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	<p>①産業見本市出展事業補助金は、例年に引き続き多くの事業者にご利用いただいておりますが、新規事業者による制度利用や国外の産業見本市出展への支援件数の増加を図るため、より一層周知を行っていく必要があります。</p> <p>②制度の周知を行ったものの、派遣相談にはつながりませんでした。2020年度は認定事業者への制度周知を強化し、派遣活用を促進する必要があります。</p>				

2 - (3) - ① 異業種・異分野との連携機会の創出

取り組みの概要	【目的】 業種や分野の領域を超えて、事業者や学生等が共創する場を設けることにより、オープンイノベーションの促進による新たな価値の創造を目指します。				
	【内容】 ○ 日常では接触機会が少ない事業者(例：商工業者と農業者等)同士のマッチングや情報交換を図るため、異業種・異分野との連携促進を目的とした交流会を開催します。				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課、農業振興課) ・町田市農業協同組合 ・町田商工会議所 ・町田新産業創造センター			【関係団体】 ・教育機関	
指標	交流会の開催件数			現状値(2017年度)	
				7件/年	
				目標値(2023年度)	
8件/年					
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	9件				
事業費	0千円				
スケジュール	異業種・異分野間の交流会開催				
2019年度の取り組み内容・成果	<p>以下のとおり、異分野・異業種交流会を実施し、事業者間の交流を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異業種交流会～やっちゃえ町田～（5月）</li> <li>・町田・八王子・相模原広域ビジネス交流会（7月）</li> <li>・若手経営者交流会（8月） ・第41回南西フォーラム（9月）</li> <li>・「Machi Biz」（テーマ：行動経済学）（10月）</li> <li>・知財シンポジウム（10月） ・町田未来ビジネスアイデアコンテスト（12月）</li> <li>・トライアル交流展（1月）・第42回南西フォーラム（2月）</li> </ul> <p>※農商工連携事例視察（3月）はコロナウイルスの影響により中止</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	町田市、町田商工会議所、町田新産業創造センター等が主体的に各種交流会を開催し、目標を達成しました。農商工連携事業は2019年度をもって終了となったため、農業者と商工業者に対し、個別のマッチング支援を行う必要があります。				

2 - (3) - ② 連携による新たな価値の創出に関する支援

取り組みの概要	【目的】 異業種・異分野間での連携による新たな商品・サービスの開発に関する取り組みを支援することで、新たな価値の創出を目指します。				
	【内容】 ○ 農商工の連携により、新たな価値を持つ商品を開発する取り組みを支援します。 ○ 創業者と既存事業者との連携を促進します。 ★ 自社以外が保有する産業財産権を活用した商品開発を支援します。【再掲】				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課、農業振興課) ・町田商工会議所 ・町田市農業協同組合			【関係団体】	
指標	連携により、事業化・商品化された件数			現状値(2017年度)	
				24件	
				目標値(2023年度)	
				44件	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	25件				
事業費	0千円				
スケジュール	異業種・異分野間での新商品・サービス開発の支援				
	創業者と既存事業者の連携支援（ビジネスコンテスト等）				
	自社以外の権利活用支援の検討【再掲】			支援の実施【再掲】	
2019年度の取り組み内容・成果	<p>農商工連携による新規商品の開発はありませんでした。過去には6件開発されました（花ゆずのお酒、まちだサイダー、柿ワイン禅寺丸、日本一トマトドレッシング、日本一ゆずポン酢、大人のゆず胡椒ドレッシング）</p> <p>・農商工連携：0件、ビジコン：1件、知財マッチング：0件</p> <p>・2018年度のビジネスアイデアコンテストをきっかけとして、2019年11月に企業が開催した地域交流イベントのイベントプロデュースを桜美林大学の学生が行いました。</p> <p>・産業財産権を活用した商品開発の支援について、日本弁理士会との連携協定に基づいて、知財マッチング事業を検討してくことで一致し、2020年当初予算への事業費計上要求を行いました。</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	2019年度農商工連携による新規商品は開発されませんでした。引き続き連携希望の事業者に対して、個別に連携を支援する必要があります。				



3 - (1) - ① コスト削減や売り上げ向上の取り組みを支援

取り組みの概要	【目的】				
	事業者のニーズや悩みに応じた経営支援を行うことで、コスト削減や売り上げ向上を図ります。				
	【内容】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 町田商工会議所経営指導員による巡回・窓口相談を実施し、事業者の経営改善を図ります。</li> <li>○ 年間を通じて経営、税務、労務、情報などに関する様々な講習会を開催し、事業に必要な情報を提供します。</li> </ul>				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田商工会議所			・町田市(産業政策課)	
指標	① 町田商工会議所経営指導員の巡回・窓口相談件数			現状値(2017年度)	
				①3,167件/年 ②875人/年	
	② 町田商工会議所経営講座の受講者数			目標値(2023年度)	
				①3,200件/年 ②900人/年	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①3,278件 ②648人				
事業費	11,500千円				
スケジュール	町田商工会議所経営指導員による巡回・窓口相談				
	経営・税務・労務等講習会の開催				
2019年度の取り組み内容・成果	<p>①町田商工会議所では、市内事業者に対して、経営指導員及び記帳相談員が巡回もしくは窓口で経営支援情報を提供し、経営改善普及事業を推進しました。</p> <p>・巡回：1,859件 ・窓口：1,170件 ・記帳相談：249件</p> <p>②町田商工会議所では、市内事業者向けに各種講座を実施しました。</p> <p>・経営に関する講座：19回（435人） ・個別相談会：25回（213人）</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大により、巡回相談を制限したことにより、件数が減少となりました。</p> <p>②受講人数が少なかった。受講者増加を図るため、経営者が抱える問題の解決につながる講座を開催する必要があります。</p>				

3 - (1) - ② 業務の効率化・生産性向上を促進

取り組みの概要	【目的】 ICT、IoT、AI等を用いた最新の設備や機器の導入を促進することで、事業者の生産性を高めます。				
	【内容】 ◎ 事業者の業務の効率化を目指し、クラウド会計等のICT導入支援や、ICTの専門家や関連事業者と中小企業のマッチングを行います。 ○ 生産性向上特別措置法に基づき、事業者の生産性向上に資する「先端設備等導入計画※」を認定し、固定資産税を軽減する等の支援を行います。				
	【実施主体】 ・町田商工会議所 ・町田市(産業政策課)			【関係団体】	
指標	① クラウド会計導入支援件数			現状値(2017年度)	
	② 「先端設備等導入計画」認定件数			①1件 ②なし	
				目標値(2023年度) ①20件 ②120件(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①18件 ②新規18件				
事業費	0千円				
スケジュール	クラウド会計の周知・啓発 → クラウド会計の導入支援				
	「先端設備等導入計画」の認定				
2019年度の取り組み内容・成果	①町田商工会議所では、クラウド会計ソフト購入時に利用できるクーポンコードの発行による支援を、2019年度は新たに9件行いました。 ②広報や会議所ニュース、市ホームページ等で情報発信を行い、新規で18件の申請がありました(変更も含め31件)。				
2019年度の取り組み評価・課題	①小規模事業者向けに、クラウド会計導入支援を実施しましたが、クーポンコードを利用したの導入には至らないものもありました。今後も継続的に導入支援を行う必要があります。 ②新規申請数が伸び悩んでいるため、これまでとは異なる広報ツールでの発信を検討していく必要があります。				

※ 先端設備等導入計画：中小企業者が一定期間内に、労働生産性を一定程度向上させるために策定する計画。計画が市の認定を受けると、新規取得設備に係る固定資産税が「3年間ゼロ」になる等の優遇措置が受けられる。

3 - (1) - ③ 事業継続の課題解決に向けた取り組みを支援

取り組みの概要	【目的】 事業を安心・安定して継続できるよう、事業者の個別課題の解決支援や、非常時における事業の維持への対策を促進します。				
	【内容】 ○ 経営課題・相談ニーズに応じて、個別事業者の課題に対応するため、専門家による個別相談会を開催します。 ◎ 台風・地震等の非常時における事業の維持に向け、事業者の危機管理対策を支援します。				
	【実施主体】 ・町田商工会議所 ・町田市(産業政策課)			【関係団体】	
指標	① 町田商工会議所専門相談の相談件数 ② 危機管理対策に関するセミナー・ワークショップ等の実施件数			現状値(2017年度)	
				①79人/年 ②なし	
				目標値(2023年度)	
				①80人/年 ②1件/年	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①93人 ②2件				
事業費	1,613千円				
スケジュール	経営課題等に応じた専門家個別相談会の開催				
	危機管理対策の必要性周知		危機管理対策支援		
2019年度の取り組み内容・成果	①専門的な相談について、相談会を61回開催しました。 ・金融24人 ・創業1人 ・法律40人 ・税務11人 ・特許2人 ・登記、許認可6人 ・労務8人 ・経営1人 合計93人 ②町田商工会議所では、事業者の危機管理対策として、セミナーを2回開催しました。 ・10月「サイバーセキュリティ対策についてのセミナー」 ・2月「サイバーセキュリティ対策セミナー（警視庁協力）」				
2019年度の取り組み評価・課題	①目標値を達成しており、相談件数から、専門相談のニーズは高いことがわかるため、引き続き事業者の課題解決に向けて積極的に支援を行う必要があります。 ②危機管理対策については、事業者からのニーズが高いため、サイバーセキュリティーに関するセミナーを引き続き行う必要があります。				

3 - (2) - ① 将来を担う人材の確保を支援

取り組みの概要	【目的】				
	事業を安心・安定して継続できるよう、事業者の個別課題の解決支援や、非常時における事業の維持への対策を促進します。				
	【内容】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京都との連携による就職面接会、採用相談会等の開催を通して、人材の採用・確保を支援します。</li> <li>★ 従業員の活力向上や組織の活性化のため、戦略的に従業員の健康管理や定着促進に取り組む事業者を支援します。</li> <li>◎ 市内事業者の人材確保・定着に向けた支援を拡充します。</li> </ul>				
	【実施主体】			【関係団体】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田商工会議所</li> <li>・町田市(産業政策課)</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)東京しごと財団、東京しごとセンター多摩</li> </ul>	
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 健康経営に関する情報提供の実施</li> <li>② 人材確保・定着に向けた新しい支援策の実施</li> </ul>			現状値(2017年度)	
				①なし ②なし	
				目標値(2023年度)	
				①1回/年 ②実施	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①1回 ②未実施				
事業費	0千円				
スケジュール	就職面接会、採用相談会等の開催				
	健康経営に関する周知		健康経営事業所の支援		
	人材確保・定着に向けた支援の検討		人材の定着に向けた支援の拡充		
2019年度の取り組み内容・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>①10月に事業所への健康経営の推進及び優良法人認定の支援を目的とした「健康経営セミナー」を開催しました(16名参加)。</li> <li>②人材確保・定着に向けた支援の検討にあたって、8月に民間事業者等と意見交換を実施しました。</li> </ul>				
2019年度の取り組み評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>①健康経営という言葉は普及しつつあるが、内容についてはまだ知らない事業者が多く見受けられるため、今後も周知・啓蒙活動を行う必要があります。</li> <li>②引き続き、民間事業者等と意見交換や情報収集をしながら、新たな取り組みを検討する必要があります。</li> </ul>				

3 - (2) - ② 人材育成やキャリア形成に関する支援

取り組みの概要	【目的】				
	事業者の生産性向上や将来の事業拡大・継続のため、優良な人材の育成を支援します。				
	【内容】				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新入社員研修やスキルアップ研修を通して、従業員の人材育成やキャリア形成を支援します。</li> <li>○ 若手経営者同士の交流や勉強会等を通して、後継者育成を支援します。</li> </ul>				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田商工会議所			・町田市(産業政策課)	
指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① キャリア形成・人材育成研修の開催回数</li> <li>② 後継者育成に向けたセミナー等の開催</li> </ul>			現状値(2017年度)	
				①1回/年 ②1回/年	
				目標値(2023年度)	
				①1回/年 ②1回/年	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①1回 ②1回				
事業費	75千円				
スケジュール	キャリア形成、人材育成のための研修の実施				
	後継者育成に向けたセミナー等の実施				
2019年度の取り組み内容・成果	<p>①4月に「新入社員研修」として、仕事意識とビジネスマナー実践講座に関するセミナーを開催し、19名（8社）が参加しました。②町田商工会議所青年部、町田法人会青年部、町田青年会議所の三団体が連携し、若手経営者・後継者育成事業として、10月に「MachiBiz2019」を開催しました。「行動経済学」をテーマとした講演会と交流会を行い、128名が参加しました。</p>				
2019年度の取り組み評価・課題	<p>①目標値を達成していますが、自社で新入社員研修を開催できない事業者からのニーズが高いため、引き続き開催する必要があります。</p> <p>②3団体で連携して企画、検討を行うことで、若手経営者同士のつながりが生まれました。目標値も達成しているため、引き続き、後継者育成を目的とした活動を行うことが必要です。</p>				

3 - (3) - ① 事業承継に対する早期の対策の促進

取り組みの概要	【目的】				
	経営者に対して、可能な限り早い段階から事業承継の意識づけや啓発を進めることで、事業承継への早期の準備を促進します。				
	【内容】				
	◎ 具体的な承継の手法や税制等に関するセミナーを開催します。 ★ 事業承継に関する支援内容を一体的に把握できるよう、周知・広報を実施します。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田市(産業政策課) ・町田商工会議所(多摩ビジネスサポートセンター)			・金融機関 ・多摩地域商工会議所	
指標	① 事業承継セミナー開催件数			現状値(2017年度)	
	② 事業承継支援に関する一括した情報発信			①2回/年 ②なし	
				目標値(2023年度)	
				①4回/年 ②実施	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①3件 ②実施				
事業費	286千円				
スケジュール	事業承継に関するセミナーの開催				
	事業承継支援内容の周知				
2019年度の取り組み内容・成果	①事業承継セミナーをテーマを変えて3回開催し、市内事業者に事業承継の必要性について、周知できました。 ・多摩ビジネスサポートセンター・横浜銀行共催セミナー（8月） ・町田新産業創造センター・日本政策金融公庫共催スタートアップ応援セミナー（9月） ・町田商工会議所・多摩ビジネスサポートセンター共催事業承継シンポジウム（10月） ※2020年3月の町田市事業承継推進ネットワーク主催事業承継セミナーは新型コロナウイルスの影響により中止 ②6月に事業承継推進ネットワークのパンフレットを作成しました。また、広報まちだ、市HP、商工会議所ニュース等で支援内容を周知しました。				
2019年度の取り組み評価・課題	①2019年度時点での目標値（3件）を達成できました。2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があるため、セミナーの開催方法について検討して、情報提供を行うことが必要です。 ②2023年度目標値（実施）を達成できました。今後もセミナーや各種広報媒体にて周知を行う必要があります。				

3 - (3) - ② 事業承継や後継者育成に関するニーズに応じた支援

取り組みの概要	【目的】 個別の事業承継に関するニーズや課題に応じた支援を行うことで、円滑な事業承継の推進による事業所数の維持を目指します。				
	【内容】 ★ 事業承継支援の担い手が、それぞれの強みを生かして効率的・効果的な支援ができるよう、支援ネットワークを構築します。 ◎ ネットワーク構成機関を中心として、個別ニーズに対する相談を実施します。 ○ 若手経営者同士の交流や勉強会等を通して、後継者育成を支援します。【再掲】				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課) ・町田商工会議所(多摩ビジネスサポートセンター) ・町田新産業創造センター ・金融機関 ・東京都多摩地域事業引継ぎ支援センター			【関係団体】	
指標	① 支援ネットワークの構築			現状値(2017年度)	
	② 後継者育成に向けたセミナー等の開催【再掲】			①なし ②1回/年	
				目標値(2023年度)	
				①構築完了 ②1回/年	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①構築完了 ②1件【再掲】				
事業費	286千円				
スケジュール	事業承継ネットワークの構築 → 個別ニーズに対するネットワークによる支援				
	後継者育成に向けたセミナー等の実施【再掲】				
2019年度の取り組み内容・成果	①5月に「町田市事業承継推進ネットワーク」を構築しました。また、1月にネットワーク構成機関で情報交換会を実施し、各機関の支援内容や今後の活動方針について意見交換しました。 ②町田商工会議所青年部、町田法人会青年部、町田青年会議所の三団体が連携し、若手経営者・後継者育成事業として、10月に「MachiBiz2019」を開催しました。「行動経済学」をテーマとした講演会と交流会を行い、128名が参加しました。【再掲】				
2019年度の取り組み評価・課題	①2023年度目標値（構築完了）を達成しました。引き続き効率的、効果的な支援をするため、ネットワーク構成機関の情報交換会を実施し、情報共有等を行うことが必要です。 ②3団体で連携して企画、検討を行うことで、若手経営者同士のつながりが生まれました。目標値も達成しているため、引き続き、後継者育成を目的とした活動を行うことが必要です。【再掲】				

3 - (3) - ③ 事業承継マッチングや事業承継手続きに関する支援

取り組みの概要	【目的】 実際に事業承継のタイミングを迎えた事業者に対し、適切な資金調達やマッチングの支援をすることで、承継後のスムーズな事業展開を目指します。				
	【内容】 ★ 事業承継の際に必要な資金の調達や設備の更新等に対する支援を行います。 ★ 親族内・事業所内の承継から、起業家等を含む外部の第三者による承継まで、多様な形式の事業承継に関するマッチングを推進します。				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課) ・町田商工会議所(多摩ビジネスサポートセンター) ・町田新産業創造センター ・金融機関 ・東京都多摩地域事業引継ぎ支援センター			【関係団体】	
指標	① 市融資制度の事業承継メニュー活用件数			現状値(2017年度)	
	② ネットワークによる市内事業者の事業承継マッチング件数			①なし ②なし	
				目標値(2023年度) ①10件(累計) ②12件(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①21件 ②2件				
事業費	129,797千円				
スケジュール	市融資制度の事業承継メニューの新設				
	市融資制度の事業承継メニューの運用				
スケジュール	ネットワークによる事業承継マッチング支援				
2019年度の取り組み内容・成果	①市融資制度の事業承継メニュー活用件数は、21件となりました(親族承継17件、従業員承継4件)。 ②広報、市HP、セミナー等で支援制度の周知を行ったことで、ネットワークを活用した市内事業者の事業承継が促進されました。また、ネットワーク構成機関の情報交換会にて今後の支援内容について検討しました。				
2019年度の取り組み評価・課題	①2019年度から新規メニューとなる事業承継資金は、5年間の目標値である10件(累計)を大きく上回る実績となりました。引き続き、セミナー等で周知を行う必要があります。 ②今後も支援制度の周知を行います。2020年度は事業承継支援助成制度を設立し、8月から申請を受け付けます。また、ネットワークによる連携を強化し支援に取り組む必要があります。				



4 - (1) - ① 多様な働き方を実現するための環境づくり

取り組みの概要	【目的】 良好な住環境を生かし、それぞれのライフスタイルに応じた多様な働き方を推進することで、子育て世代やシニアなど、幅広い世代が「働きやすい」環境を作ります。				
	【内容】 ○ ワーク・ライフ・バランスの推進に積極的に取り組む市内の事業所を表彰します。 ◎ 事業者や働く人に向けたセミナー等を開催し、情報提供を行います。 ★ テレワークや在宅ワークといった新しい働き方の推進等により、子育て世代やシニア人材の活躍を促進します。 ★ シェアオフィスやコワーキングスペース、サテライトオフィスの立地を促進します。				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課、男女平等推進センター)			【関係団体】 ・町田商工会議所 ・東京都労働相談情報センター八王子事務所 ・八王子労働基準監督署町田支署 ・ハローワーク町田	
指標	① 働き方に関するセミナー等の実施回数(市内開催)			現状値(2017年度) ①3回/年 ②なし	
	② シェアオフィス等の立地件数			目標値(2023年度) ①20回(累計) ②2件(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	① 7回/年 ② 2件(累計)				
事業費	0千円				
スケジュール	ワーク・ライフ・バランスの推進				
	働き方に関する情報提供、新しい働き方の推進				
	シェアオフィス等に対する立地奨励制度の周知	シェアオフィス等の立地支援			
2019年度の取り組み内容・成果	① 7件の働き方に関するセミナー等を実施しました。 ・6月実践！労務トラブル対応策セミナー ・7月労働者向けセミナー ・7、10月シニア生涯ワーキングセミナー ・9月、12月使用者向けセミナー ・10月労務管理セミナー ② 2件の民間企業によるシェアオフィス等がオープンしました。 ・8月コワーキングスペース「BUSO AGORA」オープン ・1月コワーキングスペース「BIZcomfort南町田」オープン				
2019年度の取り組み評価・課題	① 7件のセミナーを実施することができました。引き続き、他自治体及び他団体と連携するなどして、情報提供する必要があります。 ② 計画初年度で目標値である2件の立地を達成することができました。今後も、民間企業と連携するなどして、多様な働き方を推進する必要があります。				

4 - (1) - ② 心地よく働き続けることができる環境づくり

取り組みの概要	【目的】 働く人の不安を解消し、長期にわたって心地よく働くことができる環境を整えます。				
	【内容】 ○ 中小企業の従事者に対する福利厚生や、従業員のための相談の場を提供します。				
	【実施主体】 ・一般社団法人町田市勤労者福祉サービスセンター ・町田市(産業政策課)			【関係団体】 ・東京都労働相談情報センター八王子事務所 ・八王子労働基準監督署町田支署 ・ハローワーク町田	
	町田市勤労者福祉サービスセンター会員事業所数				
指標	現状値(2018年度※1)			922事業所	
	目標値(2023年度※2)			930事業所	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	877事業所				
事業費	22,000千円				
スケジュール	中小企業の従事者に対する福利厚生の提供				
	従業員のための相談の場の提供				
2019年度の取り組み内容・成果	(一財) 町田市勤労者福祉サービスセンターの事業支援を通じ、市内中小企業の勤労者の福利厚生の充実を図りました。加入事業所数が減少していることを受け、新規会員獲得のため、商工会議所「NEWS」へのチラシ折込やタクシー車載サインージでの広告掲載を行いました。				
2019年度の取り組み評価・課題	(一財) 町田市勤労者福祉サービスセンターの会員数及び事業者数の増加に向け、研修会や講習会事業に新たな内容を取り入れるほか、他団体との共同事業を実施するなど、より魅力的な事業とするための取り組みを進める必要があります。				

※1 2018年4月1日時点

※2 2023年4月1日時点



4 - (2) - ① 事業者サポート体制の充実

取り組みの概要	【目的】				
	産業振興計画を着実に推進していくための体制を強化します。				
	【内容】				
	★ 市と産業支援機関、金融機関等が効果的に事業者をサポートしていくための体制づくりに向けて、必要な調査・検討を行います。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市(産業政策課)</li> <li>・町田商工会議所</li> <li>・町田新産業創造センター</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・金融機関</li> <li>・その他産業支援機関</li> </ul>	
指標	事業者サポート体制の構築に向けた調査・検討			現状値(2017年度)	
				なし	
				目標値(2023年度)	
				方向性の決定	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	検討				
事業費	0千円				
スケジュール	体制構築に向けた調査				
	体制構築の検討・方向性の決定			方向性に基づく取り組みの実施	
2019年度の取り組み内容・成果	産業振興に関わる関係機関が事業者を効果的にサポートしていくための体制づくりに向けた調査を行いました。				
2019年度の取り組み評価・課題	調査結果を踏まえ、引き続き検討を進める必要があります。				

4 - (2) - ② 多様な資金調達への支援

取り組みの概要	【目的】 市内の事業者が事業を行っていく上で必要となる資金を円滑に調達するための支援を行うことで、事業者の負担軽減を図ります。				
	【内容】 ○ 町田市中小企業融資制度及び小規模事業者経営改善資金利子補助制度に基づき、金融機関から融資を受けた際の利子の一部を補助します。 ◎ 事業者のニーズに応じて、利子補助制度の見直しと拡充を図ります。 ○ 投資家とのマッチングやクラウドファンディングの活用など、事業拡大に向けた多様な資金調達を支援します。【再掲】				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課) ・町田新産業創造センター			【関係団体】 ・町田商工会議所 ・金融機関	
指標	① 市融資制度の事業承継メニュー活用件数【再掲】			現状値(2017年度)	
				①なし ②なし	
	② クラウドファンディングの支援件数【再掲】			目標値(2023年度)	
				①10件(累計) ②10件(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①21件 ②3件				
事業費	130,517千円				
スケジュール	町田市中小企業融資制度の運用				
	制度の見直しと拡充の検討及び実施				
	多様な資金調達の支援(クラウドファンディング活用支援等)【再掲】				
2019年度の取り組み内容・成果	①市融資制度の事業承継メニュー活用件数は、21件となりました(親族承継17件、従業員承継4件)。【再掲】 ②町田新産業創造センターの支援により、3件のクラウドファンディングが実行されました。【再掲】				
2019年度の取り組み評価・課題	①2019年度から新規メニューとなる事業承継資金は、5年間の目標値である10件(累計)を大きく上回る実績となりました。引き続き、セミナー等で周知を行う必要があります。 ②2019年度の新規相談案件は16件で、実行まで至らなかった案件も多くなっています。引き続き、事業者のクラウドファンディングの実行に向けた支援を行っていくことが必要です。				

4 - (2) - ③ 市内におけるオフィスや工場の新設・規模拡大を支援

取り組みの概要	【目的】 市内への新規事業所の立地、起業・創業者を含む市内事業者の設備投資や市内定着を促進することで、事業所数の維持・増加を目指します。				
	【内容】 ○ 市内の事業所数や市税の増収に向け、市の立地や業種の集積等の特性に応じた企業誘致を推進します。 ○ 起業・創業者を含む既存の事業者が市内で事業を発展的に継続できるよう、事業所の増設や移転、操業環境の改善・向上に向けた取り組みを支援します。				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課)			【関係団体】 ・町田新産業創造センター	
指標	企業等立地件数			現状値(2017年度)	
				2事業者(累計)	
				目標値(2023年度)	
				10事業者(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	2事業者(累計)				
事業費	4,048千円				
スケジュール	企業立地の促進 				
	ものづくり企業地域共生推進* 				
2019年度の取り組み内容・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地において、映画館やホテル等、新たな賑わいと交流を創出する施設を整備する事業者に対して、奨励金の交付等を行う「中心市街地活性化奨励制度」を開始しました。</li> <li>・市内で事業所を増設し、2016年度及び2017年度に企業等立地奨励金対象企業として指定した2事業者に対して企業等立地奨励金 I 型を交付し、うち1事業者には市民雇用奨励金を交付しました。</li> <li>・企業立地に関する問合せが10件あったものの、新たな企業の誘致につながらなかったため、立地件数はありませんでした。</li> </ul>				
2019年度の取り組み評価・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町田市や相模原市等、圏央道や東名高速道にアクセスの良い首都圏南西地域への立地に関する問い合わせはあるものの、市内には大規模事業所誘致用の土地がありません。</li> <li>・業種等のターゲットを決めつつ、町田市の特性を活かした誘致活動を行う必要があります。</li> <li>・町田新産業創造センター卒業者に対し、引き続き市内での事業継続を促進する必要があります。</li> </ul>				

4 - (2) - ④ 町田の特色や強みを生かした事業者の集積を促進

取り組みの概要	【目的】 国際的なイベント開催、交通網の整備に伴うハードの整備など、外部環境の変化をチャンスと捉えた各種支援施策を推進することで、町田市ならではの事業所の集積を進めます。				
	【内容】 ★ ラグビーワールドカップやオリンピック・パラリンピック等の国際大会をきっかけとした外国人観光客の増加に対応するための各種取り組み(キャッシュレス化、多言語対応等)を行う事業者を支援します。【再掲】 ★ 多摩都市モルールの延伸に伴うハードの変化を契機としたビジネスの新たな集積や、個性的な個人商店等、魅力的な事業者の立地を促進します。 ★ シェアオフィスやコワーキングスペース、サテライトオフィスの立地を促進します。【再掲】				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課) ・町田商工会議所			【関係団体】 ・町田市観光コンベンション協会 ・中心市街地活性化協議会	
指標	シェアオフィス等の立地件数【再掲】			現状値(2017年度)	
				なし	
				目標値(2023年度)	
				2件(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	2件(累計)				
事業費	0千円				
スケジュール	インバウンド対応の支援				
	立地促進に向けた土地の利活用の検討				
	シェアオフィス等に対する立地奨励制度の周知【再掲】	シェアオフィス等の立地支援【再掲】			
2019年度の取り組み内容・成果	<p>次の2件の民間企業によるシェアオフィス等がオープンしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8月コワーキングスペース「BUSO AGORA」オープン</li> <li>・1月コワーキングスペース「BIZcomfort南町田」オープン</li> </ul> <p>また、町田商工会議所では、次のセミナーを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すぐに始められる越境ECセミナー」(1月)</li> <li>・「ITを使って商売繁盛・業務効率アップ」セミナー(6月)</li> <li>・「集客・売りに結び付く、キャッシュレス決済の事例と動向」セミナー(5月、6月)【再掲】</li> </ul>				
2019年度の取り組み評価・課題	<p>計画初年度で目標値である2件の立地を達成することができました。今後も、民間企業と連携するなどして、事業所の集積を進める必要があります【再掲】。</p> <p>また、町田商工会議所のセミナーについて、新型コロナウイルス対策としてECやキャッシュレス決済の必要性を感じた事業者は多くなっていると思われるため、今後も積極的にセミナー等を行っていく必要があります【再掲】。</p>				

4 - (2) - ⑤ 町田で働く魅力の発信

取り組みの概要	【目的】				
	町田で育ち、町田で学ぶ若者に対し、町田で働く楽しさや面白さを伝えることで、市内企業への就職や市内での起業・創業を促進します。				
	【内容】				
	◎ 潜在的な起業・創業希望者の掘り起こしのため、まちふれ親子教室や子ども起業塾など、子ども向けの事業を実施します。【再掲】 ◎ 学生を対象としたインターンシップや出張授業等を実施します。 ★ 職住近接や多様な働き方など、町田で働くことの魅力を発信します。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田市(産業政策課) ・町田新産業創造センター			・町田商工会議所 ・ハローワーク町田	
指標	① 子どもや学生を対象とした職業体験等の実施回数			現状値(2017年度)	
				①2回/年 ②なし	
	② 職住近接等、町田で働く魅力のPR			目標値(2023年度)	
				①4回/年 ②実施	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	① 5回 ② 実施				
事業費	0千円				
スケジュール	子どもや学生を対象とした職業体験等の実施				
	職住近接等、町田で働く魅力のPR				
2019年度の取り組み内容・成果	①町田新産業創造センターにおいて、子どもや学生を対象としたセミナー等を5回実施しました。 7月:「高校生向け出前セミナー」 7月～12月:「町田新産業創造センターインターンシッププログラム」 8月:「まちだキッズ発明体験教室(夏)」、「まちだキッズマネー教室」 10月:「まちだ子ども起業塾」 ②ハローワーク町田との連携により、まちだで働こう! 合同会社説明会(2月)を開催し、職住近接や子育て環境の良さをPRしました。				
2019年度の取り組み評価・課題	①新たに、小学生を対象とした「キッズマネー教室」や「子ども起業塾」を開催し、子どもたちが起業・創業について関心を持つきっかけづくりを行うことができました。 ②引き続き、東京都やハローワークと連携してセミナー等を行う必要があります。				

4 - (2) - ⑥ 産業支援に関する有効な情報発信

取り組みの概要	【目的】 事業者のニーズやタイミングに応じて有効に活用できる支援情報やデータを収集・発信することで、事業の円滑な推進や成長を支援します。				
	【内容】 ★ 各機関の支援情報の効果的な発信媒体等を検討し、事業者が必要な情報を分かりやすく得ることができる仕組みを構築します。 ◎ 事業者が支援情報に気軽にアクセスでき、支援機関からの情報をタイムリーに受け取ることができる媒体として、SNS等を活用した情報発信を強化します。 ○ 産業に関する各種の基礎データを収集する調査を行い、事業者に提供します。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田市(産業政策課) ・町田新産業創造センター ・町田商工会議所				
指標	事業者ニーズに即した情報発信の仕組みの構築			現状値(2017年度)	
				なし	
				目標値(2023年度)	
				構築	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	検討				
事業費	0千円				
スケジュール	情報発信の仕組みの検討				
	事業者ニーズに即した情報発信の運用				
	SNS等を活用した情報発信の強化				
	産業に関する基礎データの収集・提供				
2019年度の取り組み内容・成果	地域経済の活性化を目的とした、全国の信用金庫が参加する「よい仕事おこしフェア実行委員会」と連携し、地域産業振興と中小企業支援に取り組むため、「地域産業活性化に関する連携協定」を締結しました。 また、「よい仕事おこしネットワーク※」に登録し、市内の中小企業に向け、補助金やセミナー・イベント等の情報発信を行いました。				
2019年度の取り組み評価・課題	「よい仕事おこしネットワーク」に登録し、市のイベント情報等を発信することができました。更に全国のバイヤーに向けて、市の名産品等の情報発信を行っていく必要があります。				



4 - (3) - ① コト・トキ・モノ消費を楽しむことができる「商店街」の育成支援

取り組みの概要	【目的】				
	欲しいものを買うだけでなく、そこでしか出来ない体験ができ、特別な時間を過ごすことができる場として、商店街の魅力向上や来街者増加を目指します。				
	【内容】				
	○ 商店会が主体となるイベントの開催やまちなみの整備、情報発信の強化等に対する支援を行います。 ◎ 商店会の運営や事業がより効果的・効率的に実施されるよう、各商店会の課題を抽出、解決するための専門家派遣を行います。				
	【実施主体】			【関係団体】	
	・町田市(産業政策課) ・町田市商店会連合会				
指標	① 商店会のイベント・活性化事業数			現状値(2017年度)	
	② 商店会に専門家を派遣した案件数			①46件/年 ②なし	
				目標値(2023年度)	
				①46件/年 ②60件(累計)	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	①42件 ②14件				
事業費	45,286千円				
スケジュール	商店会のイベント・ハード整備等に対する支援				
	商店会への専門家派遣				
2019年度の取り組み内容・成果	①商店街イベント・活性化事業数：46件の申請に対して補助金の交付決定を行い、中止となった4件を除く42件の事業（町田市商店街チャレンジ戦略支援事業：38件、町田市地域連携型商店街事業：4件）に対して支援を行いました。多くの方が商店街を訪れるきっかけとなり、まちの賑わい創出や商店会と地域住民との交流促進、商店街の魅力増進につながりました。 ②10商店会、14案件について、商店会へ中小企業診断士を派遣し、イベント内容の検討や街路灯の撤去など、商店会ごとの課題の解決を行いました。				
2019年度の取り組み評価・課題	①台風の影響等でイベントを中止せざるを得なくなった商店会もあり、目標値を達成できませんでした。 ②イベント事業の改善、会の魅力向上や賑わいの創出に向けた取り組み、商店会運営の改善等について専門家を派遣しましたが、解決には時間のかかる問題も多く、継続的な支援が必要です。				

4 - (3) - ② 町田の産業の魅力発信

取り組みの概要	【目的】 市の産業の魅力をより多くの方に感じていただけるよう、町田駅周辺等で各種のイベントを開催し、商工業、農業を中心とした産業全体をPRします。				
	【内容】 ○ 町田市の産業をPRするイベント（「キラリ☆まちだ祭※」等）を開催します。				
	【実施主体】 ・町田市(産業政策課、農業振興課) ・町田商工会議所 ・町田市農業協同組合			【関係団体】	
指標	イベント(「キラリ☆まちだ祭」等)の来場者数			現状値(2018年度)	
				130,000人/年	
				目標値(2023年度)	
				150,000人/年	
年度	2019	2020	2021	2022	2023
達成状況	135,154人				
事業費	4,000千円				
スケジュール	「キラリ☆まちだ祭」等の開催				
2019年度の取り組み内容・成果	11月9日（土）、10日（日）に「キラリ☆まちだ祭2019～いい街・町田の農業祭&産業フェスティバル～」を開催し、過去最多となる135,154人の来場者数となりました。 イベント会場では、市内農業者の活動や農業の魅力伝えるブースの設置、市内商業事業者の飲食物の販売、市内農畜産物生産者と飲食・商業者が連携して開発した農商連携商品の販売、野菜・植木の品評会や即売会等を行い、事業者や農畜産物のPRを行いました。				
2019年度の取り組み評価・課題	町田市と町田商工会議所、町田市農業協同組合が連携して開催する当イベントは、2019年度で9回目の開催となり、来場者数も徐々に増加しています。来場者アンケートでは、毎年楽しみにしているといった声が多数あり、イベントの認知度が上がっていることがわかりました。 今後も、より多くの事業者や農業者が参加し、出店によるPR効果が期待できるよう、内容を検討する必要があります。				

※ キラリ☆まちだ祭：市内の地域資源や農作物、工業製品・サービス等、町田市の魅力と活力を多くの市民にPRすることを目的とし、年1回町田駅周辺で開催する農業と産業のフェスティバル